



# 富国有徳の理想郷 “ふじのくに”づくり

平成22年度

組織定数改編・当初予算(案)の概要

平成22年2月16日



---

# 1 基本理念

---



# (1) 基本理念

## 「富国有徳の理想郷 “ふじのくに” づくり」の礎となる組織と予算

### 方針1 県民生活を守る危機管理の充実と緊急雇用・経済対策

- (1) 危機管理の充実
- (2) 緊急雇用・経済対策の実施

### 方針2 “ふじのくに” づくりに向けた組織定数改編と行財政改革の推進

### 方針3 “ふじのくに” づくりの重点施策

- (1) 「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくり
- (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり
- (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり



---

## 2 当初予算案の概要

---



# (1) 予算の規模

## 一般会計

1兆1,265億円

いざ行こう “ふじのくに” に向かって ゴー  
1 1 2 6 5

## 全会計

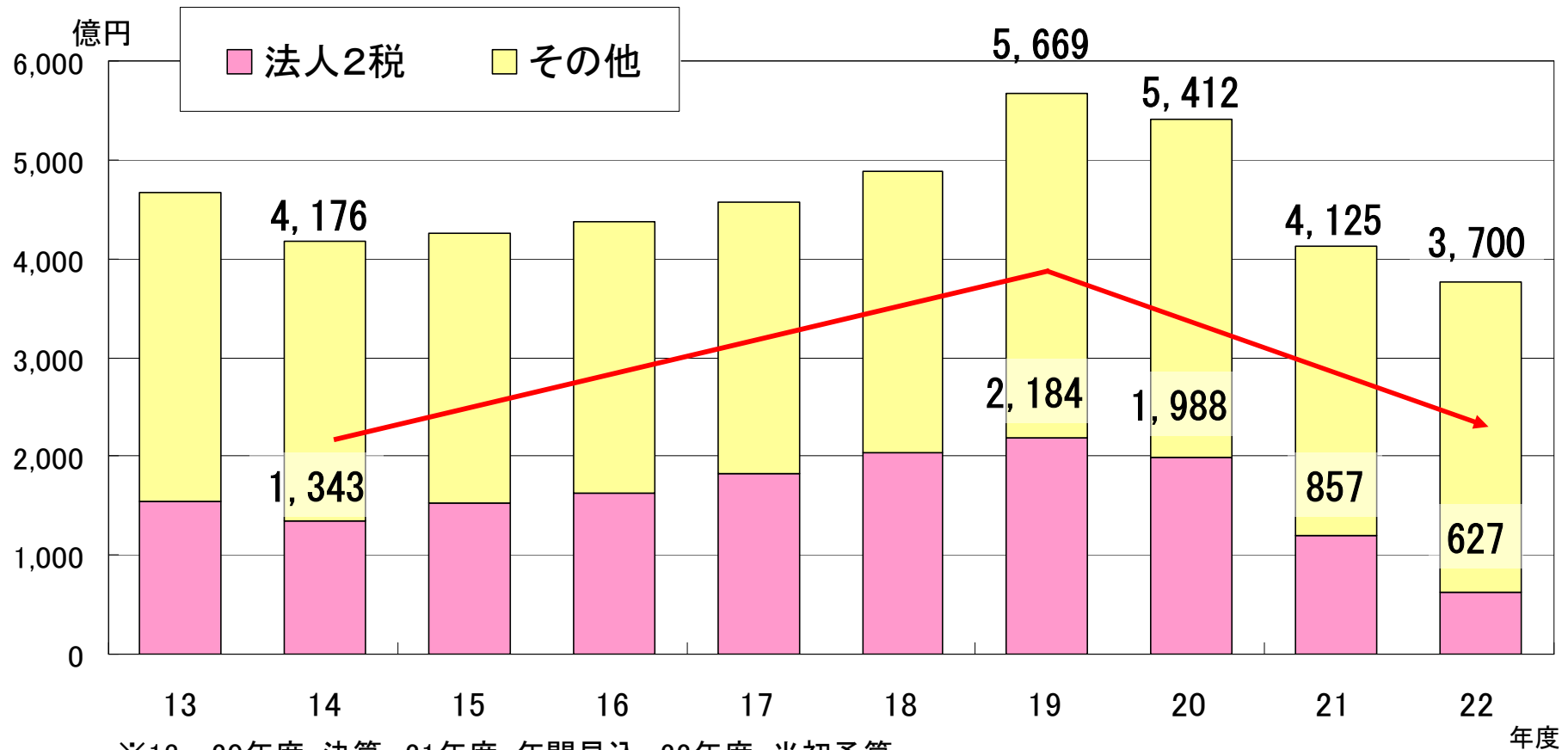
(単位:億円、%)

区 分	H22当初	H21当初	増 減	伸 率
一般会計	11,265	11,318	△53	△0.5
特別会計	4,094	4,767	△673	△14.1
企業会計	563	643	△80	△12.4
合 計	15,922	16,728	△806	△4.8



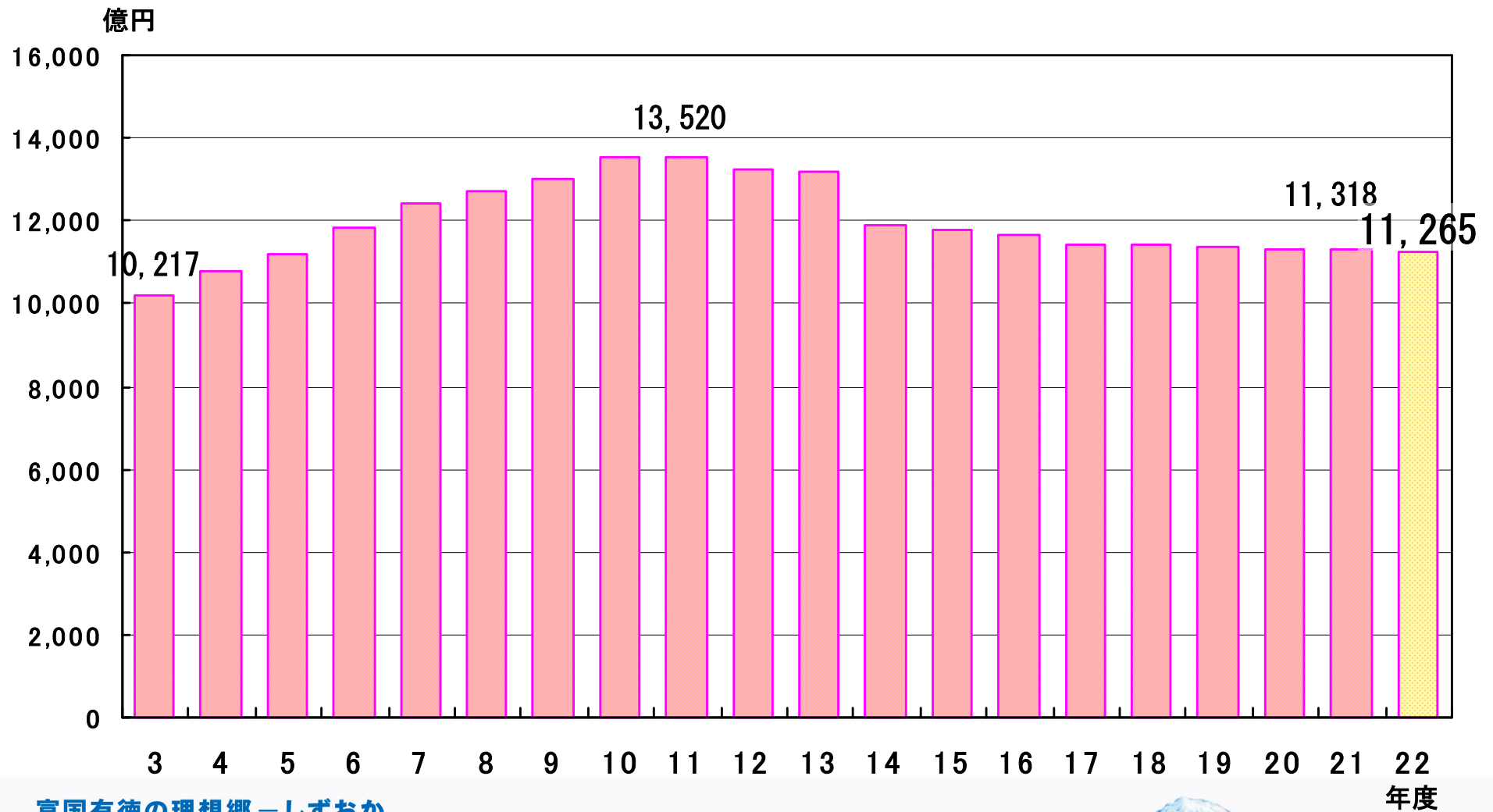
## (2) 県税の推移

### 県税収入はさらに減少の見込



# (3) 一般会計の推移

予算規模は前年度並を確保



---

### 3 県民生活を守る危機管理の充実と緊急雇用・経済対策

---





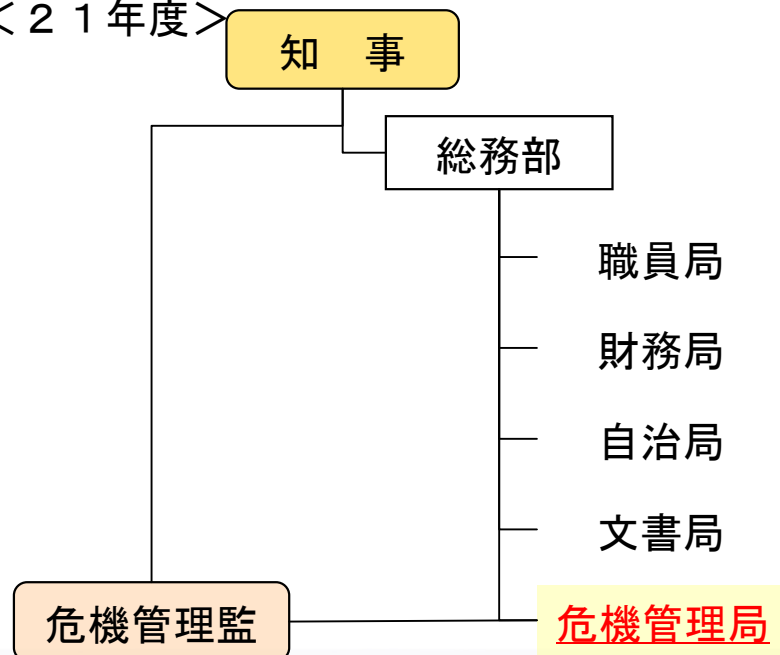
# (1) 危機管理の充実 -1-

## 危機管理部の設置

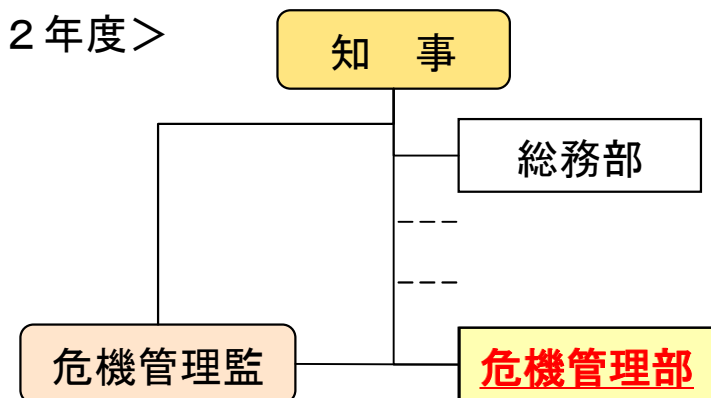
様々な危機事案の発生に備え、平常時から、より迅速な意思決定や機動的な対応を可能とする組織体制に改める。

「危機管理局」を「危機管理部」に格上げ

< 21年度 >



< 22年度 >



# (1) 危機管理の充実 -2-

## <東海地震等の防災対策の推進>

- ・ **県有建築物耐震化事業費** 44億2,500万円  
    ※22年度、23年度計画分を一部前倒して実施 2億7,300万円  
    (知事部局) 草薙総合運動場硬式野球場ほか (H21 2月補正)  
    (教育委員会) 浜松工業高校実習棟ほか  
    (警察本部) 下田警察署分館ほか
- ・ **プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業費** 9億200万円  
    木造住宅の耐震補強2,100戸、専門家診断5,000戸ほか
- ・ **私立学校地震対策緊急整備事業費助成** 3億円  
    私立小中高校、幼稚園の校舎等の耐震補強に助成
- ・ **医療施設耐震化臨時特例事業費助成（新規）** 3億1,300万円  
    災害拠点病院等への助成 静岡赤十字病院ほか
- ・ **社会福祉施設等耐震化等事業費助成** 17億3,000万円  
    障害者施設や児童施設の耐震化に助成

# (1) 危機管理の充実 -3-

- **防災・原子力学会議等運営費（新規）** **400万円**  
防災と原子力に関し、安心・安全のための情報を発信する学会議の開催
- **大規模地震対策等総合支援事業費** **17億円**  
市町拠点へリポート整備事業に対する助成制度の創設
- **防災行政無線デジタル化推進事業費** **2億2,400万円**  
衛星系・地上系2系統による無線通信網の再構築のための基本・実施設計
- **新型インフルエンザ対策事業費** **6億1,800万円**  
抗インフルエンザ薬の備蓄、低所得者等のワクチン接種費用の負担軽減ほか
- **地震防災センター津波シアター等整備事業費（新規）** **5,000万円**  
津波シアターの映像機器等の更新



## (2) 緊急雇用・経済対策の実施 -1-

＜雇用の確保＞ 雇用創出 H21当初 3,305人から7,250人程度に大幅増

- **緊急雇用創出事業** 129億6,900万円  
基金の追加造成 70億円(H21 2月補正)  
介護、医療、農林水産、環境エネルギー等の重点分野で雇用創出
  - 県事業** 雇用創出 3,500人程度 67億6,900万円  
民間からの提案方式による雇用創出事業ほか
  - 市町事業** 雇用創出 3,400人程度 62億円  
市町が実施する緊急雇用対策事業に対する助成
- **ふるさと雇用再生特別対策事業** 17億円  
将来、正規雇用につながる雇用を県、市町で創出 雇用創出 350人程度
- **離職者等緊急住まい対策事業費助成（新規）** 16億3,100万円  
離職者等で生活に困窮し、住宅を喪失した人に住宅手当等を支給
- **大学生・離職者等就職支援事業費** 2,700万円  
大卒者等就職面接会 H21 1回 → H22 3回、高校生就職面接会 3回(新規)ほか

## (2) 緊急雇用・経済対策の実施 -2-

### <経済対策>

- **中小企業・農林漁業者向け制度資金** **<融資枠 2,100億円>**  
(中小企業)2,000億円 (農業者)58億円 (林業者)6億円 (漁業者)36億円  
経済変動対策貸付枠 H21 800億円 → H22 1,100億円  
融資利率0.2%引下げ(過去最低水準)(22年3月1日から実施)  
(例)経済変動対策貸付 1.5% → 1.3%
- **小規模事業経営支援事業費助成** **27億500万円**  
経営改善普及事業等を行う商工会及び商工会議所等に助成
- **下請振興等事業費助成** **7,000万円**  
商談会の拡充による受注機会の確保 H21 5回 → H22 7回
- **地域活性化・きめ細かな観光関連道路等臨時整備費(新規)** **(H21 2月補正) 20億円**  
観光地周辺等の道路の維持補修や信号機の整備等
- **緊急防災対策・地域活性化臨時整備事業費** (H21 2月補正) **10億円**  
河川、砂防等の緊急維持、整備



---

## 4 “ふじのくに”づくりに向けた組織定数改編と行財政改革の推進

---



# (1) 本庁組織の再編

- ・ 県政の重点課題に対する取り組み体制の整備
- ・ 県民に分かりやすい名称に改称

21年度		22年度	所管局
総務部	(改称)	経営管理部	職員局、財務局、自治局、文書局
企画部	(改称)	企画広報部	知事公室、知事戦略室、広報局、企画調整局 情報統計局
県民部	(改称)	くらし・環境部	管理局、県民生活局、建築住宅局、環境局
厚生部	(新設)	文化・観光部	文化学術局、観光局、国際・交流局
産業部	(改称)	健康福祉部	管理局、福祉こども局、長寿政策局 障害者支援局、医療健康局、生活衛生局
建設部	(改称)	経済産業部	管理局、振興局、就業支援局、農林業局 水産業局、商工業局
	(改称)	交通基盤部	管理局、建設支援局、道路局、河川砂防局 港湾局、空港局、都市局、農地局、森林局
	(新設)	危機管理部	

## (2) 文化・観光部の設置

### 文化・観光部の設置

- 多彩な文化の創出と継承
- 誰をも惹きつけ、もてなす魅力づくり
- 多様な交流の拡大と深化

### <主な所管業務>

#### 【総務企画課（富士山総合調整担当）】

- ・ 部の人事、予算経理、企画調整
- ・ 富士山総合調整窓口
- ・ 富士山の日条例、富士山憲章

#### 【文化学術局】

- ・ 文化芸術の振興
- ・ 富士山の世界文化遺産登録
- ・ 高等教育機能の充実、人づくりの推進
- ・ 私立学校の振興

教育委員会文化課  
芸術文化振興業務

「場力」を活かした「ふじのくにの魅力」の向上

#### 【観光局】

- ・ 本県観光地の魅力づくり
- ・ コンベンションの誘致
- ・ 観光誘客対策

#### 【国際・交流局】

- ・ 国際施策の調整、多文化共生施策
- ・ 各種交流・スポーツイベントの実施
- ・ 交通施策の企画・調整
- ・ 空港利活用戦略本部、空港機能の向上

# (3) 行財政改革の推進 -1-

## 定員管理計画

- 平成22年度当初削減数 **▲ 69人**
- 平成22年4月までの500人削減目標に対し累計 **▲ 526人**

＜一般行政部門における職員の削減数＞

(単位：人)

年度	10～14	15～17	18	19	20	21	22	合計
計画	500	250	500					1,250
実績	年度計	—	84	158	116	99	69	
	期間計	509	287	526				1,322

平成9年4月に比べ、**▲ 1,322人 (▲ 18.2%)**

職員数：平成9年度 **7,264人** ⇒ 平成22年度 **5,942人**

## (3) 行財政改革の推進 -2-

### 無駄を徹底的に排除した「見える」県政の実現

#### ○「ふじのくに行政革新戦略会議（仮称）」の開催

- ・新しい行政経営のあり方を提言
- ・新しい行政改革の方向性について提言

- ・「新行財政改革プラン」策定
- ・今後の改革に反映

#### ○静岡方式による「事業仕分け」の実施

- ・県民や有識者（リーディング・アドバイザー等）による事業見直し
- ・業務棚卸表と組み合わせた効果的、効率的な手法  
→各施策から主要事業を選択、仕分け結果を政策的経費全般に反映
- ・費用対効果になじまない事業（文化、研究等）は対象外

- ・経費の削減
- ・県民参画の推進
- ・職員の意識改革



# (3) 行財政改革の推進 -3-

- ◆ 平成21年10月31日～11月2日にかけ事業仕分けを実施
- ◆ 101事業（仕分け結果103件）

<仕分け結果と予算への反映>

(単位：件・百万円)

事業仕分け結果			H22当初予算（案）				
区分	件数	H21当初予算	予算案	対前年	廃止	改善	提案
不要	12	1,114	728	△386	8	4	0
民間	5	983	907	△76	0	5	0
国・広域	3	4,386	4,396	10	0	1	2
市町村	6	7,721	7,438	△283	3	3	0
県	委託	1,562	1,325	△237	3	3	0
	改善	32,734	30,637	△2,097	0	53	0
小計	85	48,500	45,431	△3,069	14	69	2
県現行	18	4,686	3,535	△1,151	—	—	—
合計	103	53,186	48,966	△4,220	14	69	2

廃止又は改善による縮小	89事業 (財源捻出額)	41.9億円 (30.7億円)
-------------	-----------------	--------------------



# 歳入確保、歳出のスリム化による 富国有徳の理想郷 “ふじのくに”づくり の実現

## 歳入の確保

- ・市町との協働等による税収確保 4.8億円
- ・核燃料税の確保 11.4億円
- ・未利用財産の売却等 19.0億円

計 35億円

## 歳出のスリム化

- ・事業仕分けによる見直し 30.7億円
- ・事務事業徹底した見直し 31.5億円
- ・一般行政部門のスリム化 5.8億円
- ・職員給与の見直し 46.9億円
- ・他会計、出資法人等への歳出の見直し 30.0億円
- ・その他 6.8億円

計 152億円

187億円の財源を捻出

---

## 5 “ふじのくに”づくりの重点施策

---



## (1)「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくり



# (1) 「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくり -1-

## ＜安心医療の提供＞

- ・ **地域医療再生基金関連事業費（新規）** **6億3,000万円**  
県が定める地域医療再生計画に基づく事業の実施  
(志太榛原圏域) 指導医の招聘、救急医療センター体制整備ほか  
(中東遠圏域) 家庭医療センター整備、地域健康支援センター運営ほか
- ・ **医師確保対策関連事業費** **8億2,200万円**  
医学修学研修資金 新規100人、県立病院医師の公的病院等への派遣ほか
- ・ **看護職員等確保対策関連事業費** **2億1,800万円**  
潜在看護師の再就業支援や離職防止対策、認定看護師資格取得研修ほか
- ・ **ドクターヘリ運航事業費助成・夜間運航検討事業費** **4億2,500万円**  
聖隷三方原病院、順天堂大学附属静岡病院 夜間運航に向けた検討
- ・ **小児救急電話相談事業費** **4,600万円**  
相談受付時間の延長(10月～) H21 18～23時 → H22 18～翌8時ほか





# (1) 「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくり -2-

## <子育て支援の充実>

- ・ **こども医療費助成** **19億3,500万円**  
入院の助成対象の拡大 未就学児 → 中学校3年生以下  
新規拡大分は市町の財政力指数に応じた助成  
※政令市への助成(経過措置 補助率1/6)
- ・ **育ててよし、ふじのくに幼保連携促進事業費 (新規)** **5億9,000万円**  
認定こども園整備のための施設整備費助成 民間施設4ヶ所ほか
- ・ **しずおか「富2(じ)、3(さん)っ子」応援プロジェクト事業費** **12億400万円**  
子育てのアイデアを民間から公募し、地域における子育て活動を支援
- ・ **多様な保育推進事業費助成** **5億1,700万円**  
県単保育ママの巡回・相談を行う支援者雇い上げ費用に対する助成制度の創設ほか



# (1) 「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくり -3-

## ＜障害者の自立と社会参加の促進＞

- ・ **障害者働く幸せ創出事業費（新規）** **1億300万円**  
障害者と企業を結び、就労を促進するワンストップサービスセンターの設置ほか
- ・ **障害児者ライフサポート事業費助成** **2,000万円**  
重症心身障害者(児)の短期入所等に要する経費について新たに助成

## ＜いきいき長寿社会の実現＞

- ・ **介護保険関連施設整備事業費助成** **64億7,500万円**  
国基金を活用して整備を前倒し 特別養護老人ホーム等117ヶ所ほか
- ・ 「働きながら資格をとる」介護職員雇用支援事業費 **9億3,200万円**  
介護事業者による失業者の雇用及び資格取得を支援 ヘルパー2級コース130人
- ・ **介護職員処遇改善事業費交付金** **46億3,700万円**  
介護職員の処遇改善等を行う事業者に対し助成 1人あたり1.5万円/月相当

## (2)「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり



## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -1-

### <人材の育成>

#### ●静岡式35人学級編制 25年度までに全学年に拡充

- ・ **35人学級編制** (国加配等 451人)  
小中学校における35人学級編制を段階的に拡充  
H21 中学校1・2年生 → H22 小学校6年生～中学校3年生
- ・ **小学校低学年支援充実実事業費 (新規)** 4億2,900万円  
小学校低学年の多人数学級への支援員の配置を拡充  
H21 小学校1年生 → H22 小学校1・2年生 支援員 544人  
※政令市分も県で対応
- ・ **私立学校経常費・私立専修学校等運営費助成** 206億800万円  
高校単価 H21 338,343円 → H22 343,543円(+5,200円)
- ・ **私立高等学校等就学支援金等助成 (新規)** 40億2,200万円  
私立高等学校等の授業料の一部を助成



## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -2-

- ふじのくに学びの「宝箱」活用推進事業費（新規） 1,100万円  
人材バンクの運営及び人材バンクの活用推進のためのモデル事業を実施
- 外国人児童生徒トータルサポート事業費（新規） 1億900万円  
プレスクール制度の検討、外国人児童生徒相談員の派遣ほか
- しずおか型部活動推進事業費（新規） 1,300万円  
望ましい部活動のあり方検討、大学生等による部活動支援ほか
- 県立学校等施設整備事業費 30億4,100万円  
静岡地区新構想高校(仮称)、天竜地区新構想高校(仮称)、  
浜松地域特別支援学校分校(仮称)、賀茂地域特別支援学校分校(仮称)ほか



## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -3-

### ＜文化・芸術の振興＞

- **ふじのくに芸術街道創出事業費** 3,900万円  
次期文化振興基本計画の検討、文化資源の活用事業ほか
- **美術館運営事業費** 4億4,600万円  
常設展及び自主企画展観覧料の無料化を大学生以下に拡充ほか
- **教育委員会から文化・観光部（文化政策課）へ芸術文化振興業務を移管**
- **県芸術祭第50回記念事業等開催事業費（新規）** 1,900万円  
第50回記念事業等の開催
- **伊豆文学フェスティバル開催事業費** 1,500万円  
第14回伊豆文学賞の開催ほか



## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -4-

### <産業の振興>

ふじのくにグリーンニューディール～「食の都づくり」と「農の理想郷づくり」～

#### ●農業振興

- ・ **ふじのくに「食の都」づくり推進事業費（新規）** 2,700万円  
県産食材を利用した食文化の創出、表彰制度の創設ほか  
「食材の王国」から「食の都」へ
- ・ **経済産業部マーケティング推進課に「6次産業推進班」を設置**
- ・ **6次産業化モデル創出支援事業費（新規）** 2,800万円  
6次産業の事業化に向けた商品開発支援  
「ふじのくに 食と農 健康づくりフェア」の開催
- ・ **ふじのくに地産地消パワーアップ事業費（新規）** 1,400万円  
農芸品の料理コンクール、学校給食における地場産品導入ほか
- ・ **ふじのくにブランド推進事業費（新規）** 3,100万円  
「ふじのくにブランド」戦略会議の設置、知事トップセールスほか





## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -5-

### ●耕作放棄地対策 22年度 解消目標面積 500ha

- ・経済産業部農業振興課に「耕作放棄地再生班」を設置
- ・耕作放棄地解消総合対策事業費助成 8,200万円  
耕作放棄地解消のための基礎的な作業に助成
- ・担い手育成型モデル農園設置活用事業費助成（新規） 420万円  
モデル農園の開設  
サラリーマン小作の支援、小中高生の農業体験支援(1校1農園)ほか
- ・県単独耕作放棄地解消基盤整備事業費（新規） 6,000万円  
耕作放棄地と周辺農地の一体的な基盤整備

### ●担い手育成

- ・農林業を支える元気な担い手支援事業費（新規） 7億4,400万円  
新規就業者育成510人(研修40人、体験60人、雇用等410人程度)



## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -6-

### ●茶業振興

- ・ 中山間の銘茶づくり事業費（新規） 400万円  
2年間で農芸品として「100銘茶づくり」
- ・ **ふじのくに茶文化海外発信事業費（新規）** 300万円  
海外への新たな消費提案活動（静岡の茶文化の研究、新商品開発ほか）
- ・ 明日のしずおか茶育成事業費助成（新規） 3,500万円  
しずおか茶ファンの創出、学校等における茶の効用の啓発等による茶販路  
拡大 ほか

### ●林業振興

- ・ 経済産業部林業振興課に「県産材利用班」を設置
- ・ 森林整備加速化・林業再生事業費 7億5,500万円  
ストックヤード機能の強化、間伐、路網整備、里山対策ほか
- ・ **しずおか優良木材の家総合支援事業費助成** 9,300万円  
H21 250棟 → H22 300棟 ほか



## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -7-

### ●新産業の創出

- **環境産業創出事業費（新規）** 2,500万円  
構造転換セミナー、環境技術相談会、はままつ環境技術展ほか
- **富士山麓先端健康産業集積プロジェクト関連事業費** 1億5,900万円  
ファルマバレーセンターの運営、産学官連携による研究開発の支援、人材育成、地元企業への研究成果の創出促進（県と12市町の協調助成）ほか
- **フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業費** 1,400万円  
地域結集型研究開発成果の中小企業への普及、事業化の推進
- **知的クラスター推進事業費助成** 2,400万円  
光・電子技術関連産業の集積促進のため、技術・研究成果を地域に普及
- **産業立地推進事業費助成** 50億6,500万円  
企業誘致の強化、既存企業の定着化促進や工業団地の安定的な供給



## (2) 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり -8-

### ● 中小企業への支援

- **中小企業・農林漁業者向け制度資金【再掲】** <融資枠 2,100億円>  
(中小企業)2,000億円 (農業者)58億円 (林業者)6億円 (漁業者)36億円  
経済変動対策貸付枠 H21 800億円 → H22 1,100億円  
融資利率0.2%引下げ(過去最低水準)(22年3月1日から実施)  
(例)経済変動対策貸付 1.5% → 1.3%
- **小規模事業経営支援事業費助成【再掲】** **27億500万円**  
経営改善普及事業等を行う商工会及び商工会議所等に助成
- **下請振興等事業費助成【再掲】** **7,000万円**  
商談会の拡充による受注機会の確保 H21 5回 → H22 7回
- **中小企業成長基盤強化事業費** **2,500万円**  
新たな事業分野創出を目指す中小企業に(財)しずおか産業創造機構と協調して助成



### (3)「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり

富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに



### (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり -1-

#### <富士山に係る総合的な取組>

- 「富士山の日」総合推進事業費（新規） 2,500万円  
富士山の日シンポジウム、ふるさと富士交流会の開催ほか
- 富士山世界文化遺産登録推進事業費 2,500万円  
保存管理計画報告書の作成、山梨県とのフォーラム開催ほか
- 富士山環境保全推進事業費 2,000万円  
富士山ごみ減量大作戦、自然植生の復元ほか
- 富士山観光魅力発信事業費（新規） 4,500万円  
富士登山客に対する登山指導、観光案内ほか



## (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり -2-

### <環境・自然保護>

- ・ **ひとと地球に優しい新エネルギー推進事業費（新規）** **1億4,100万円**  
ふじのくにエネルギー推進会議、家庭等における省エネ設備導入支援ほか
- ・ **しずおか新エネルギー推進事業費（H21 2月補正）** **9,300万円**  
「緑の分権改革」の推進、クリーンエネルギー資源の賦存量・利用可能量調査
- ・ **森の力再生事業費** **9億8,200万円**  
荒廃森林の整備ほか
- ・ **林業・木材産業構造対策事業費助成** **9億700万円**  
木質バイオマス供給施設（ペレット製造施設）ほかの整備に助成





### (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり -3-

#### <交通ネットワーク・インフラの整備>

- ・ “おもてなしの道” 伊豆スカイライン低料金化事業費 **2億2,700万円**  
通行料金を200円以下に引き下げ(平成23年3月まで)
- ・ 道路施設長寿命化緊急対策事業費(新規) **21億円**  
劣化の著しい橋梁・舗装・トンネル設備を対象とした緊急修繕
- ・ 草薙総合運動場リニューアル事業費 **8億4,300万円**  
内野スタンドの耐震補強・施設改修、外野拡張設計等
- ・ 東部地域都市拠点総合整備事業推進費 **4,100万円**  
契約締結準備支援業務、管理運営計画策定業務ほか  
JR沼津駅北口にコンベンション施設を整備
- ・ 都市高速鉄道高架事業費 **11億4,100万円**  
JR富士宮駅周辺の高架本体工事、JR沼津駅周辺の埋蔵文化財調査ほか



### (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり -4-

#### <国内外の観光推進> ~ ビジット“ふじのくに”キャンペーン ~

#### ●観光関連事業費 18億1,100万円(H21 17億3,700万円)

- ・ふじのくにおもてなし推進事業費 **1億800万円**  
観光情報の発信、県内各地域の魅力ある観光地づくりへの支援ほか
- ・ふじのくに海外誘客推進事業費 **9,800万円**  
海外プロモーション、訪日教育旅行誘致ほか
- ・ふじのくに観光ブランド創出事業費 **2億3,800万円**  
観光圏への支援(伊豆、浜名湖)、大型観光キャンペーンの実施ほか
- ・ふじのくにニューツーリズム推進事業費 **4,900万円**  
ニューツーリズム、ジオパーク構想の推進ほか
- ・ふじのくにMICE誘致促進事業費 **1,100万円**  
コンベンション、報奨旅行の誘致促進に向けた人材育成、誘致活動支援



### (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり -5-

- ・ 富士山観光魅力発信事業費（新規）【再掲】 4,500万円  
富士登山客に対する登山指導、観光案内ほか
- ・ 訪れてよしの“食・宿”情報発信事業費（新規） 3,000万円  
3分野（特選名店、もてなしの宿、B級グルメ）のガイドブックの作成、販売
- ・ 観光施設整備事業費 9億9,500万円  
市町が行う観光施設整備事業に対し助成、県有観光施設の整備 ほか
- ・ 上海万国博覧会出展事業費 7,300万円  
平成22年5月1日～10月31日、中国・上海市で開催、日本産業館への出展
- ・ ふじのくに3776友好訪中事業費（新規） 2,300万円  
上海万博の期間を中心に、3,776人を浙江省へ派遣

## (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり -6-

### <空港の利活用推進>

- ・ **空港利活用促進事業費** **4億7,800万円**  
エアポートセールス、利活用促進支援策の実施、広報 ほか
- ・ **空港アクセスバス運行事業費** **1億1,700万円**  
浜松駅との直行便、タクシー輸送システムの試行を追加
- ・ **空港管理運営事業費** **5億6,100万円**  
空港基本施設等の維持管理や運営業務
- ・ **空港整備関連事業費** **11億4,000万円**  
ターミナル地区西側のエプロン拡張、空港アクセス道路の整備



## (3) 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり -7-

### <多様な交流の推進>

#### ●定住と交流

- ・文化・観光部に「交流促進課」を設置
- ・“住んでよし”ふじのくに定住促進事業費（新規） 300万円  
家・庭が一体となった魅力ある住まい方など定住促進に向けたビジョンの取りまとめ、定住促進戦略会議の開催
- ・しずおか農山村交流定住促進事業費（新規） 1,000万円  
農家民宿の認定基準の創設、農の暮らし体験受入体制整備に取り組む市町への支援ほか
- ・大学と連携したまちづくり構想検討事業費（新規） 500万円  
東静岡駅から有度山に至る地域のランドデザインの検討  
大学コンソーシアムの機能の検討ほか
- ・ふじのくに芸術街道創出事業費【再掲】 3,900万円  
次期文化振興基本計画の検討、文化資源の活用事業ほか



---

## 6 財政の中期見通し

---



# (1) 財政の中期見通し -1-

## 試算の前提

区分	23年度	24年度	25年度	26年度
世界経済順調回復シナリオ	1.5%	1.8%	2.1%	2.3%
世界経済底ばい継続シナリオ	△3.1%	△2.6%	△2.0%	△1.5%

※内閣府試算の名目経済成長率を使用

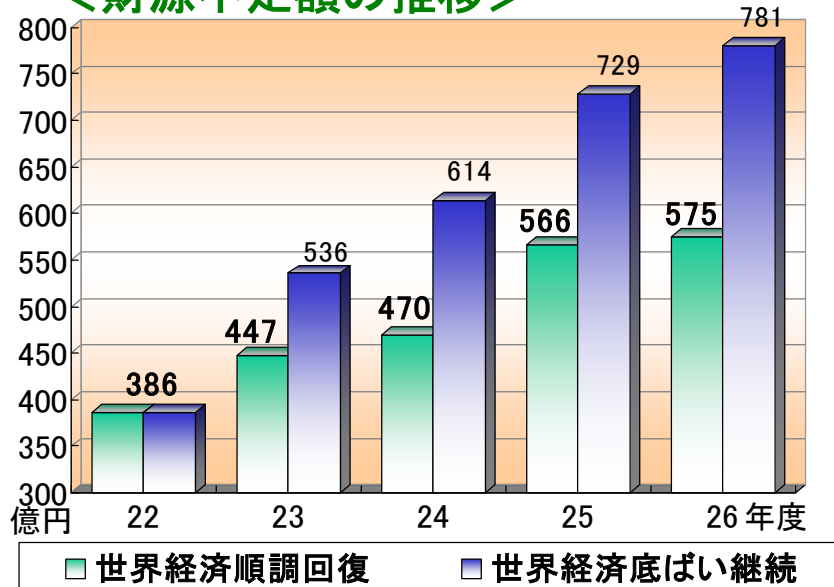
## 試算結果

### ＜健全化指標の推移＞

区分	目標	22年度	26年度
経常収支比率	90%以下	94.7%	96.1% (99.0%)
実質公債費比率	18%未満	14.2%	15.0% (15.9%)
将来負担比率	400%未満	282.5%	311.0% (320.4%)
県債残高	上限2兆円程度	19,273億円	17,133億円 (17,133億円)
県債残高 (通常債+特例債)	—	24,856億円	27,231億円 (28,564億円)

( )内は世界経済底ばい継続シナリオ

### ＜財源不足額の推移＞





# (1) 財政の中期見通し -2-

## 今後の取組

### (1) 県自らの取組

#### “ふじのくに”の“豊かさ”の向上

新たな総合計画に基づく富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくりの実現

#### “ふじのくに”づくりを支える効率的で効果的な行政運営の実現

新たな「行財政改革プラン」に基づく徹底的な行財政改革の実施

○歳出のスリム化（「事業仕分け」による事業の見直しほか）

○歳入の確保（市町との協働による税收確保ほか）

### (2) 国への提言

○地域主権の実現

○持続可能で予見可能性の高い地方税財政制度の構築





